

重点プラン

重点プランとは、後期基本計画期間の5年間において、重点的に実施する施策群です。平成27年度に策定した「多古町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけられた施策を「重点プラン」の施策として位置づけました。

1. 多古町に合った雇用の場を創出する

- 農業の担い手の確保・育成や産地化の推進、地産地消の推進等、基幹産業としての農業の強化や就業支援に取り組みます。
- 多古工業団地立地企業や地元企業への支援を強化します。
- 企業誘致条例の見直しや事業用地の確保、道路改良等に取り組み、成田国際空港に近い立地を活かせる業種・業態の誘致を推進します。

2. 若い世代が多古町で結婚・子育てしやすい環境をつくる

- 空港シャトルバスや多古台バスターミナル、地域公共交通機関を活用し、通学・通勤圏の拡大に取り組みます。
- 住宅取得を支援する制度の推進や優良住宅地の形成促進等を通じ、若い世代の転入を促進します。
- 保育サービスや教育環境、医療などの子育て環境の充実を図るとともに、本町の良好な子育て環境を戦略的にPRします。
- 若い世代の出会いの場を創出し、結婚を後押しすることにより、晩婚化や非婚化、晩産化に歯止めをかけます。

3. 多古町の魅力を高め、定住・移住・Uターンを促進する

- 特産品のPR強化や、観光や農業等の振興を推進し、本町の知名度アップを図ります。
- 成田国際空港圏9市町や周辺自治体と連携を強化します。
- 学校及び家庭における郷土教育やふるさと意識の醸成を図ります。
- 成田国際空港への近さ・住みやすさのPRを強化し、本町の住みやすさを効果的に情報発信します。
- ICTを活用した教育やキャリア教育、国際交流など、特色ある教育を推進し、これを積極的にPRします。



4. 高齢者が元気に暮らせる仕組みを整える

- 高齢者の社会参加や生涯学習活動の支援、高齢者の活動の場の充実を図り、高齢者の生きがいづくりや多世代交流を促進します。
- 行政と住民との協働や町民のまちづくりへの参加促進、NPOやボランティア団体の育成を通じて、地域の支え合い活動を促進します。
- 町民が生涯を通じて主体的に健康づくりを実践できるよう、町民が健康の維持増進に取り組むための環境整備や健康づくりに関する啓発活動を推進します。

重点プランに掲げた「雇用の創出」「結婚・子育て環境の充実」「定住・移住・Uターンの促進」「高齢者が元気に暮らせる仕組みづくり」の4項目を中心に、多古町後期基本計画を構成する各施策を展開することにより、本町の将来像である「人・文化・自然 みんなでつくる 潤いのまち 多古」の実現を目指します。
詳しくは、町ホームページをご覧ください。



お問い合わせ ● 企画空港政策課企画政策係 ☎ 76-5409

待ちに待った町立図書館！



4月15日、旧多古幼稚園を利用した「多古町立図書館」がオープンしました。当日は春の日差しが心地良いこともあり、多くの利用者が来館し、ふっくらたまこのファイルや缶バッジなどがプレゼントされました。

「幼児」「児童」「一般」と区分された3つの『閲覧室』には幅広いジャンルの本が並び、2階には広々とした『学習室』もあり落ち着いて勉強することができます。また、図書の検索や取り寄せ、学習に必要な資料提供など皆さんのリクエストに図書館司書がお応えします。

新しくなった図書館をぜひご利用ください。



学習室



一般閲覧室

お問合せ ● 多古町立図書館 ☎ 79-3406

「多古町まち・ひと・しごと創生総合戦略」

44冊目



『ももへの手紙』
原案：沖浦啓之
著：百瀬しのぶ
発行：角川文庫

〈あらすじ〉

“ももへ”それだけを書き残し天国へと旅立った父。その後母と共に離島に引っ越したが、心は晴れないまま。そんなとき、奇妙な3匹の妖怪がつかまとい始め…!?心を揺さぶる家族の絆の物語。

今回紹介した本は、町立図書館に置いてあります。リクエストにもお応えしますので、お気軽にご利用ください。
■ 多古町立図書館 ☎ 79-3406
開館時間：午前9時～午後7時
(日曜日は午後5時まで)
休館日：月曜日・祝日・年末年始等

初めはDVDを見て興味を持ち、私たちに妖怪が見えたとしたらどんな世界なんだろう、仲良くなれるのかなあと思ったのがきっかけでした。主人公が困ったときに妖怪や友達が出てくれるのですが、人とのつながりや友情が読み取れ、とても温かい気持ちになるので同年代の友達にもおすすめしたい一冊です。
主人公ももは、お父さんを事故で亡くしています。お父さんとけんか別れになり、仲直りができないままお母さんと離島に引っ越します。慣れない生活に戸惑いながら過ごすのですが、そんなある日、不思議な妖怪たちと出会ったことで生活が変わっていきます。



本植人：水澤真愛さん(登戸台)

妖怪は、最初の頃はいたずらもしませんが、ももを助けてくれる良い妖怪です。もものお母さんが体調を崩し、嵐で島に医者呼べない状況になるところから、妖怪たちはもものために協力をお母さんを助けてあげます。その場面が一番心に残っていて、私も自分のお父さんやお母さんが困っているときは、妖怪たちのように助けてあげたいなと思いました。新しい図書館になって、プラザの図書室より本がたくさんあるので楽しいし、わくわくします。本が大好きなので、これからもいろいろなジャンルの本を読んできたいです。



『ももへの手紙』
— 私の一冊 —